

地域と行政をつなぐ

発行者 新潟市北区自治協議会 会長 倉島敏弘
事務局 新潟市北区地域総務課内 Tel. 025-387-1175

北区自治協議会だより

平成31年3月31日発行 第16号

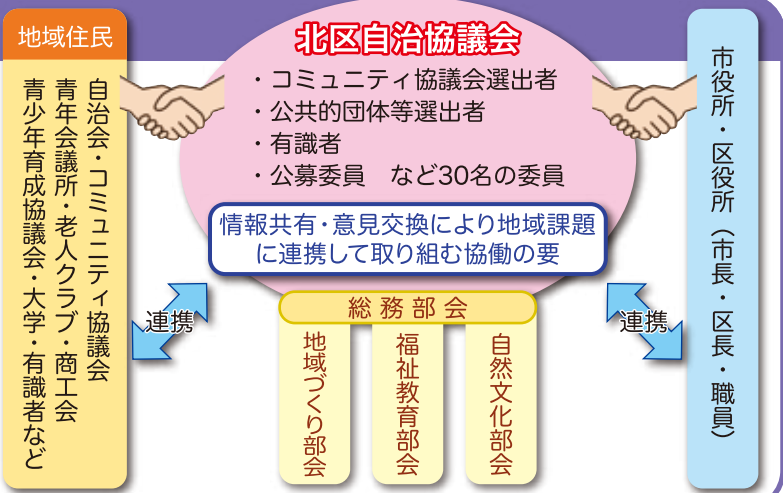
第6期北区自治協議会の活動紹介

自治協議会とは…

地域と市・区役所をつなぐ、住みよい北区のまちづくりを推進するため、地域の代表や有識者など30名が毎月集まり、全体会と総務部会及び3つの専門部会で話し合っています。

《主な活動》

- 審議会** として……市や区の施策や区の重要な計画について意見を述べています。
- 地域の代表** として…各地域や団体が持っている課題を共有し、意見の調整ととりまとめを行い、解決のための話し合いを行っています。
- 事業の企画** として…地域の課題解決や活性化につながる事業を提案し、企画・実施主体



第6期 北区自治協議会を振り返って

会長 倉島 敏弘



ノーザン ミュージック フェスティバル 2018

新潟市は平成19年に政令指定都市となり、北区が誕生するとともに、区自治協議会が発足。10年が経過し、第6期自治協議会は11年目からのスタートとなりました。

この間、区自治協議会の原点に立ち返り、区民と市との「協働の要」としての役割を再認識し、北区のまちづくりや地域課題の解決に向けた事業の企画検討を行う専門部会を設置し、真剣に取り組んでまいりました。

自治協提案事業では、多くの分野にわたる事業の効果や意義などについて、活発な議論を行い、8事業を実施しました。その中でも、印象深かったのは次の2事業でした。

一つ目は、「ノーザン ミュージック フェスティバル 2018」です。プロのミュージシャンの生演奏を楽しむとともに、北区の少年少女合唱団、郷土芸能など多くのジャンルのさまざまな音色が会場いっぱいに響き渡った1日となりました。区内に限らず、区外、県外からも幅広い年齢層の方が来場し、北区を大いに盛り上げるイベントとなりました。

二つ目は、松浜海岸隣接地域の飛砂防止と、新潟市民文化遺産「ひょうたん池」の埋没防止のために、松浜海岸にアキグミの植樹を行った事業です。地元住民など200人程が参加し、地域と市が協働して取り組みました。さらに次年度からは区づくり事業として継続され、アキグミが大きく成長する近い将来、その成果が待たれるところです。

平成30年度の「新潟市区自治協議会のあり方検討委員会」の答申によると、「区の実情に合った区自治協議会」とするよう方向性が示されています。これまでの6期にわたって築き上げてきた「協働の要」の形が、さらに進化・発展することを期待します。



北区の課題解決に向けた取り組みの充実を

副会長 松田 正實

北区においても人口減少や高齢者世帯の増加、大規模な自然災害対策、子育て世代の支援、農業や産業の充実と雇用の創出などの重要な課題への対応が求められています。北区自治協議会では、地域づくり・福祉教育・自然文化の3専門部会に委員が所属して、部会ごとに北区の活性化と安心して暮らせる地域づくりに向けて、部会報告（裏面）にあるような事業に取り組んでいます。これらは委員が考えた北区の特色に即した自治協議会提案事業であり、着実な成果を上げているように思います。

また、昨年春に発生した痛ましい女子児童の事件をきっかけに、地域住民による登下校の子どもの見守り活動が求められ、関係機関と連携しながら各コミュニティ協議会を中心に取り組みを強化しています。今後も区民の皆さん方の意見を把握しながら、委員としてよりよい地域づくりに努めていきたいと思っております。

平成29年度委員研修会

■全体研修会（7月6日 黒崎市民会館）



他区の委員と一緒に18班に分かれて意見交換



班ごとに発表

はじめに、新潟NPO協会理事や秋葉区と南区の自治協議会会長が、まちづくりのために地域と行政が「協働」する意義等について講演。続いて、他区の委員と一緒に、ワークショップ方式で意見交換を行いました。

■区委員研修会（11月9日 佐潟水鳥・湿地センター）

ラムサール条約湿地に登録されている西区の佐潟を訪ねました。潟の多種多様な生き物や自然を活用した保全の取り組みについて、同センター職員から、また条約への登録手順等について、担当職員から話を聞きました。



美しい佐潟を見学



佐潟の生き物等について職員のレクチャー

平成30年度委員研修会

■全体研修会（11月21日 秋葉区文化会館）

二年目となる全体研修会では、各区の会長から、魅力ある区自治協議会とするための取り組み事例について発表がありました。



各区発表者とコメントーターとの意見交換



代表して発表する倉島会長

■区委員研修会（7月17日 東港・新潟食料農業大学）

クルーズ船来港による東港の賑わいや、区内に本部のある新潟食料農業大学の胎内キャンパスを見学。農業ビジネス教育の現場で、担当教授から取り組みについて聞き、観光による交流人口の増加に思いをはせました。



クルーズ船コスタ・ネオロマンチカの前で



新潟食料農業大学胎内キャンパスを見学

北区自治協議会 各部会活動振り返り

地域づくり部会 テーマ:賑わいづくり、空家活用、公共交通、防災、地域産業、人口減少

本間 久文 部会長 阿部 恵美子 副部会長
 阿部 康夫 五十嵐 隆吉 倉島 敏弘 本間 藤雄 山賀 好郎 阿部 淳一 上松 鉄雄
 川島 朝臣 小林 啓一郎

《羽越水害50年記念事業》平成29年度

羽越水害から半世紀を経て、あらためて防災対策の必要性を周知するために、北区治水シンポジウムを開催（6月18日、参加者350名）。被災時の支援体制について学ぶ、救援物資の仕分け・炊き出しワークショップも行いました。記録冊子を作成、貴重な水害映像をDVDにしました。



北区文化会館で開催されたシンポジウム



救援物資の仕分けワークショップ



羽越水害で大きな家屋被害を受けた前新田沖（記録写真）

《ノーザン ミュージック フェスティバル 2018》平成30年度

地域の活性化と音楽による賑わいの創出を目的に企画、地域の関係団体を加えた実行委員会で事業を進めました。当日は台風接近のため、野外での催しは中止されましたが、屋内でプロのミュージシャンの演奏や区内の神楽舞、少年少女合唱団等の発表が行われ、区内外から幅広い年齢層の聴衆が集まり、大いに盛り上がりしました。



絆道協会練武館の発表



辛島美登里さんのステージ

《松浜海岸の環境整備と地域活性化事業》平成29年度

松浜海岸周辺住宅への飛砂被害防止と市民文化遺産「ひょうたん池」の埋没を防ぐため、松浜砂丘地にアキグミ1,300株を植えました。植樹には、松浜地域の住民や小学生ら約200名が参加。翌年度から、区づくり事業として継続的に取り組む事業に発展しました。



松浜小学校4年生(当時)が参加し、賑やかに植樹が行われた松浜海岸

《地域防災力向上事業》平成30年度

災害時に各地域で活躍できる人材の育成と、区民の防災意識の向上を図る事業に取り組みました。防災士養成講座の周知と受講補助を行い、区内全ての地域で1名以上（総勢22名）の防災士を養成。また、防災士が実際に地域で防災リーダーとして活躍していくためのフォローアップ研修を開催し、防災士と地域のつながりを強めることができました。



ポリ袋に食材を入れて湯せんで火を通すパッキングの体験

自然文化部会 テーマ:文化・スポーツ・環境・空家対策

若尾 明弘 部会長 阿部 美恵子 副部会長
 赤間 松次 松田 正實 渡邊 正廣 内川 えつ子 川居 栄子
 後藤 静枝 高口 和則

《北区の潟の魅力発信事業》平成29年度

福島潟のラムサール条約登録に向けて区民の理解を深めるため、大熊孝新潟大学名誉教授を講師として、自治会長向けの講演会を開催しました。また、約20年間更新されていなかった水の駅「ビュー福島潟」の展示や、区内の多様な水辺を紹介する「北区の水辺マップ」をリニューアルし、水辺の魅力を発信しました。



「ビュー福島潟」4階パネルと展望スペースの景色解説掲示



リニューアル
北区の水辺マップ



オオヒシクイのはく製展示



部会の視察研修

《福島潟の魅力発信事業》平成30年度

福島潟に棲む河童が主人公のファンタジー『河童のユウタの冒険』（斎藤惇夫著）。この作品にちなみ、「ユウタの棲家」（金井田英津子画）のタペストリーを制作しました。また、ラムサール条約やその理念についての理解を深めるための啓発パネルやパンフレットも作成し、展示・配布しました。



四季折々の「ユウタの棲家」金井田英津子画



「ビュー福島潟」展望ホルのタペストリー

福祉教育部会 テーマ:子育て、教育、医療、保健、福祉全般

渡邊 正之 部会長 梅津 玲子 副部会長
 若月 則子 五十嵐 紀子 工藤 真美 曾我 美智緒 高橋 正寿
 眞壁 麻優 村中 美和子 岡 昌子

《福祉教育部会だよりの発行》平成29年度

子どもの育成環境の改善を図るため、「福祉教育部会だより」を作成し、区内小学生の各家庭に配付しました。命の大切さをテーマに、子どもたちの心身を健やかに育むために必要な配慮や、家庭での教育について読みやすくまとめ、忙しい親世代でも難なく読めるチラシとしました。

発行期間：平成29年10月から平成30年3月まで

発行頻度：毎月（全6回）

発行方法：区内各小学校より全学年に配付（約3,800枚）



早通健康福祉会館へ視察見学



《区民の一体感醸成プロジェクト—みんなの区役所づくり—》平成30年度

北区役所新庁舎に整備される交流スペースの活用策等を検討することを目的として、自治協議会福祉教育部会委員を含め、区内で活動する各団体等出身の参加者を集めたワークショップ検討会を4回開催しました。交流スペースのレイアウトや活用に必要な機能を検討しながら、地域に開かれた区役所づくりを目指しました。



ワークショップの様子